



**2026年 2 月期
通期決算説明資料**

2026年 4 月14日

株式会社ツインバード 証券コード： 6897

2026年2月期 通期決算 ハイライト

国内家電市場は節約志向の高まりや市場競争激化により、特にエントリークラスの家庭用冷蔵庫・洗濯機において厳しい環境。収益性が急激に悪化した家庭用冷蔵庫・洗濯機について、厳しい市場環境が続くとの認識のもと事業縮小を決定。事業構造改革と今後の収益構造の改善のための一時的損失や税効果の見直しにより、大幅な当期純損失を計上。

売上高

89.9億円

(前期比 Δ 10.5%)

当期純利益

Δ 12.1億円

(前期比 $-$ %)

売上総利益率

23.7%

(前期比 Δ 5.9pt)

家電製品事業
セグメント利益*

Δ 0.9億円

(前期比 $-$ %)

営業利益

Δ 8.5億円

(前期比 $-$ %)

FPSC※事業
セグメント利益*

0.1億円

(前期比 Δ 84.3%)

経常利益

Δ 8.9億円

(前期比 $-$ %)

ROE
自己資本当期純利益率

Δ 18.6%

(前期比 Δ 17.3pt)

※FPSC：フリー・ピストン・スターリング・クーラー *調整額（全社費用 7.8億円）を除外

目次

1. 2026年2月期 通期決算概要
2. 2027年2月期 通期業績予想
3. 2026年2月期 期末配当
2027年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

目次

1. 2026年2月期 通期決算概要
2. 2027年2月期 通期業績予想
3. 2026年2月期 期末配当
2027年2月期 年間配当予想

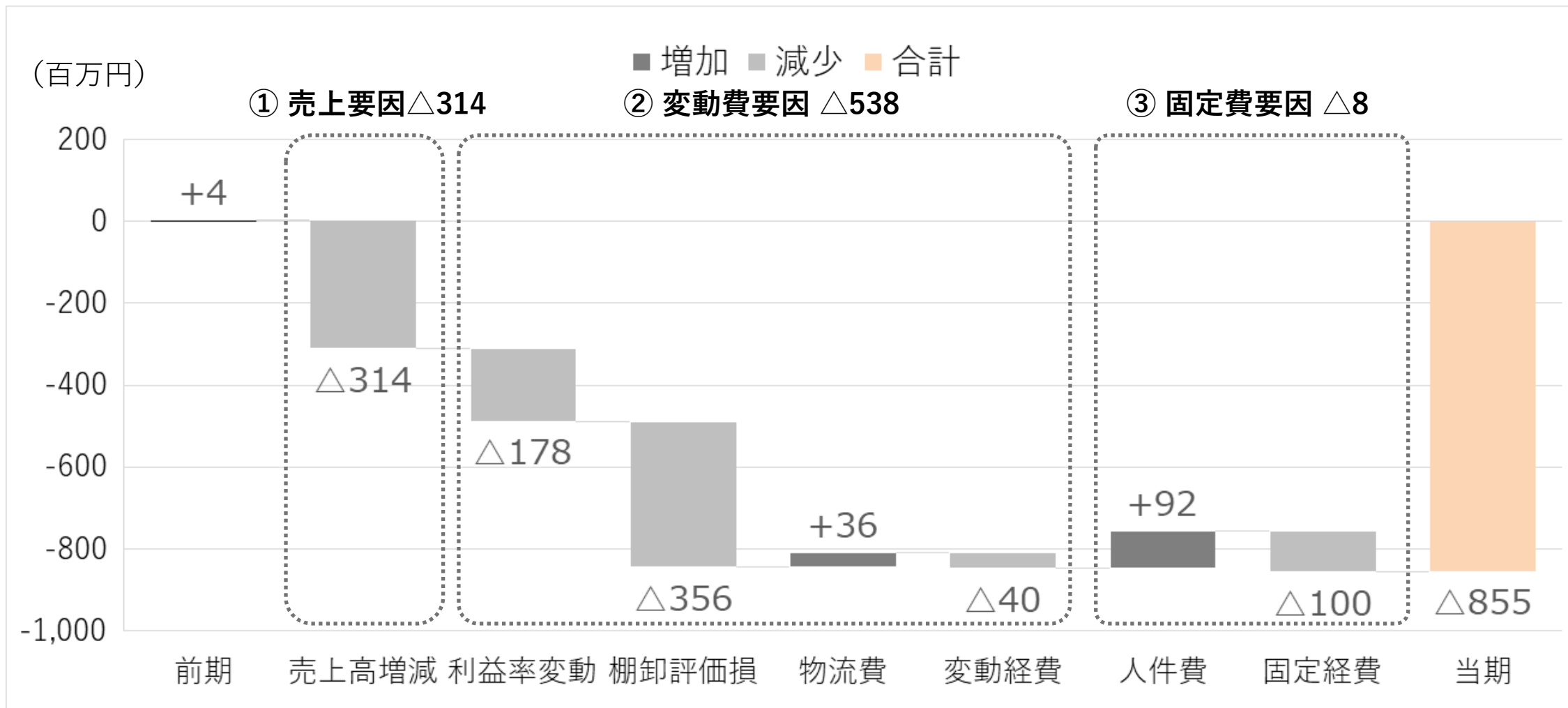
補足資料：四半期別業績数値

2026年2月期 通期決算 損益概況

単位：百万円	2025年度	2024年度			(参考) 2025年度
	通期 実績	通期 実績	前期比 差額	増減率	通期 業績予想
売上高	8,998	10,056	△1,057	-10.5%	10,500
売上総利益	2,133	2,980	△846	-28.4%	
売上高比	23.7%	29.6%	-5.9pt		
販売費及び一般管理費	2,989	2,975	13	0.5%	
売上高比	33.2%	29.6%	3.6pt		
営業利益又は営業損失 (△)	△855	4	△860	-	150
売上高比	-9.5%	0.0%	-		1.4%
経常利益又は経常損失 (△)	△896	42	△939	-	120
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,218	△101	△1,116	-	100

※通期業績予想は2025年4月14日公表数値

2026年2月期 営業利益：前期比増減の要因分析



2026年2月期 セグメント別業績概況

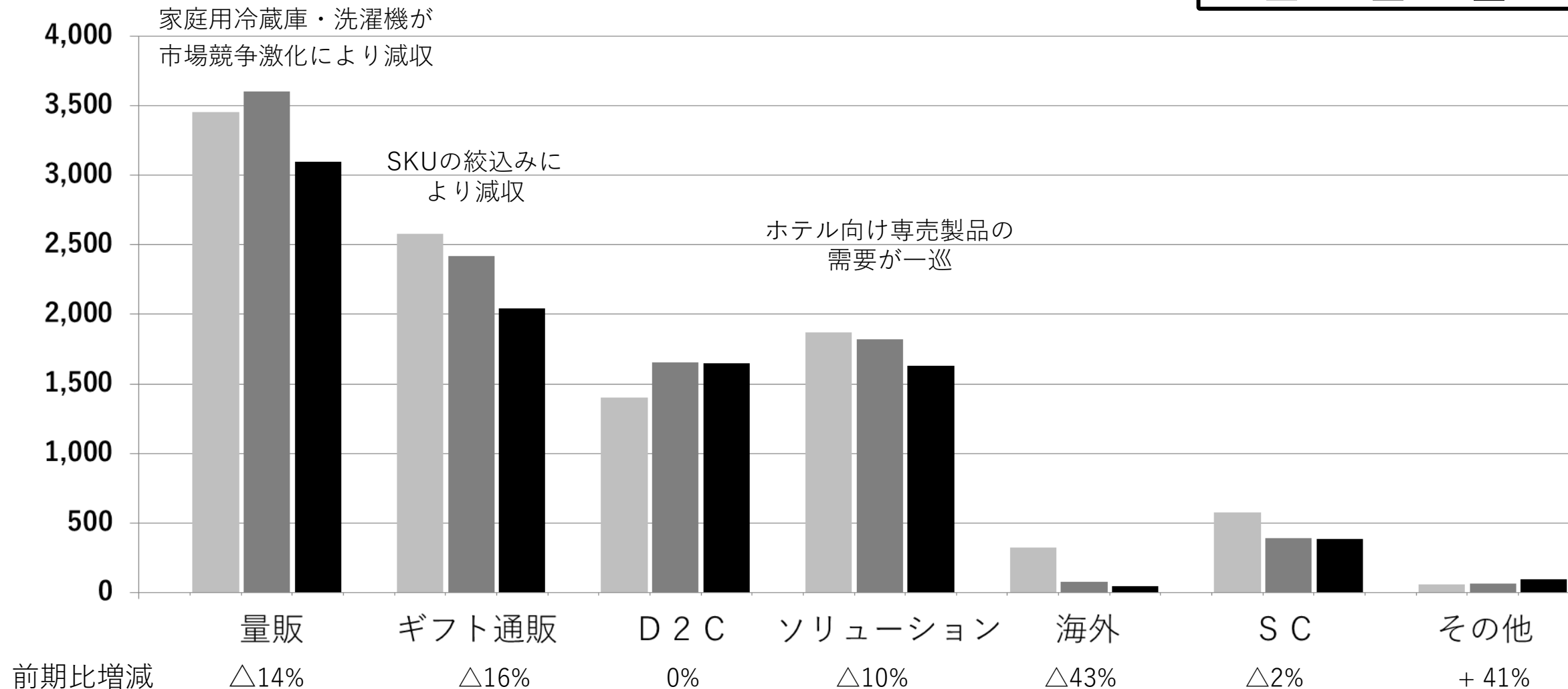
- 家電製品事業は、「匠プレミアム」の新製品を相次いで発売するとともに美容室ルートへの新販路開拓や韓国での海外展開などを推進。一方、価格改定や原価低減を進めたものの、家庭用冷蔵庫・洗濯機市場の競争激化による販売低迷と、全社事業構造改革費用及び今後の収益改善に向けた一時的費用等によりセグメント損失を計上。
- FPSC事業は、米国の通商政策の影響による主要取引先の在庫計画見直しを受け受注減、展示会出展等で認知度向上図るも減収減益。

単位：百万円	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率	2025年度 実績	2024年度 実績	前期比 差額	前期比 成長率
家電製品事業 売上高比	8,611	9,633	△1,022	△10.6%	△90 △1.1%	664 6.9%	△755 -8.0pt	-
FPSC事業 売上高比	387	423	△35	△8.4%	19 5.0%	121 28.6%	△101 -23.6pt	△84.0%
調整額					△784	△781	△2	
全社 計 売上高比	8,998	10,056	△1,057	△10.5%	△855 △9.5%	4 0.0%	△860 -	-

2026年2月期 販売チャネル別 売上高の推移

(百万円)

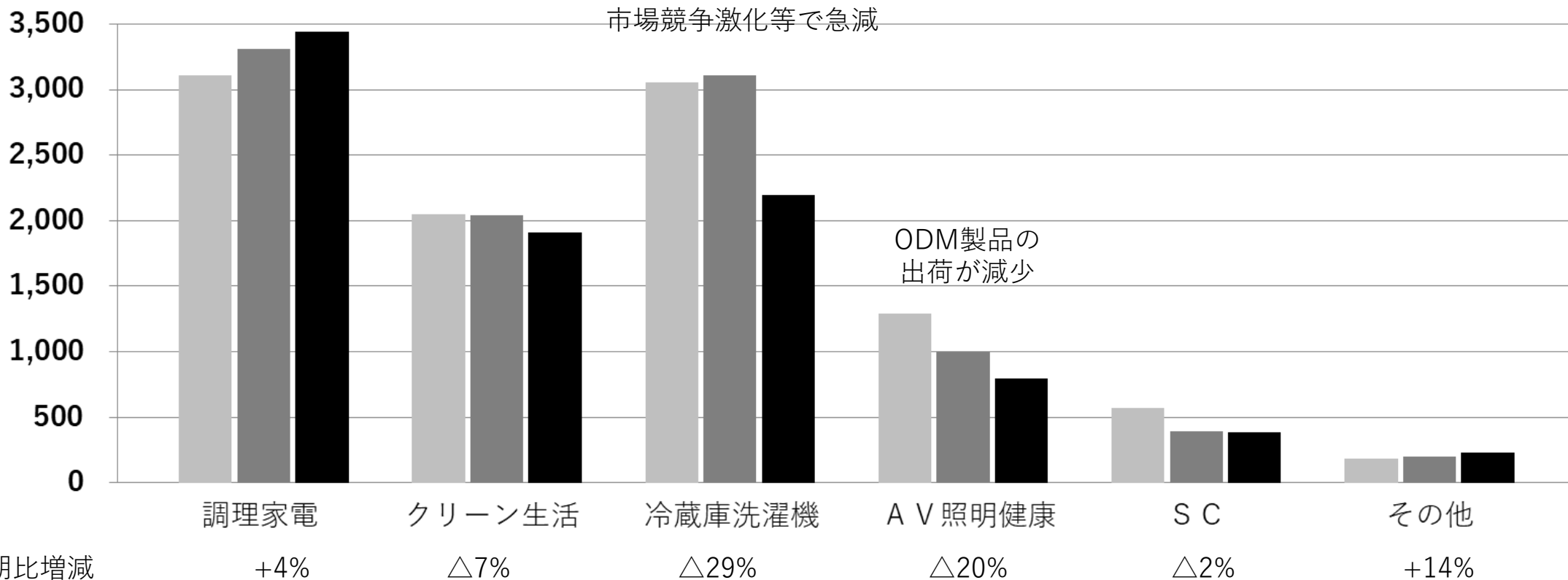
販売チャネル別 売上高



2026年2月期 商品ジャンル別 売上高の推移

(百万円)

商品ジャンル別 売上高



全自動
コーヒー
メーカー
CM-D465B



匠ブランジェ
トースター
PLUS
TS-D487B



匠クラフト
ドライヤー
TB-G009W



病院向け
小型冷蔵庫
TR-241W



スターリング
冷凍機
SC-UE15R

2026年2月期末 貸借対照表

単位：百万円	2025年度			2024年度			
	期末	前期末	増減	期末	前期末	増減	
現預金	1,052	610	441	仕入債務	185	189	△3
売上債権	1,193	1,966	△772	短期借入金	1,200	1,500	△300
棚卸資産	3,066	3,139	△72	長期借入金	870	460	410
その他	323	370	△47	その他	1,108	975	133
流動資産 計	5,636	6,087	△451	負債 合計	3,364	3,124	239
有形固定資産	3,417	3,572	△155	資本金・資本剰余金	5,149	5,149	-
無形固定資産	467	676	△208	利益剰余金	1,289	2,649	△1,360
投資その他資産	409	530	△121	その他	127	△56	183
固定資産 計	4,294	4,780	△485	純資産合計	6,567	7,743	△1,176
資産 合計	9,931	10,868	△937	負債&純資産合計	9,931	10,868	△937
				自己資本比率	66.1%	71.2%	△5.1pt

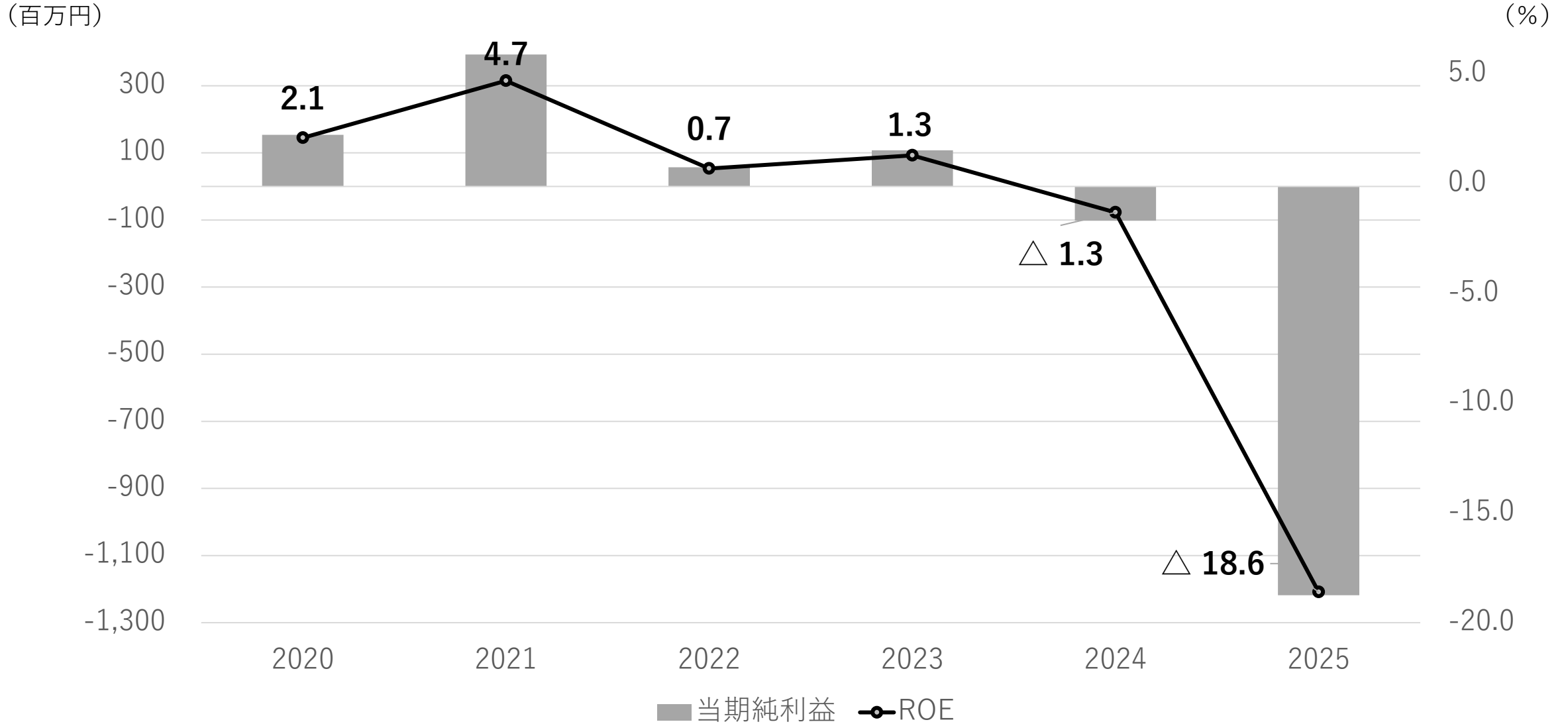
2026年2月期 キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2025年度	2024年度	増減
税引前当期純利益	△1,145	113	△1,259
減価償却費	441	360	80
売上債権の増減額	772	△24	797
棚卸資産の増減額	72	△118	190
仕入債務の増減額	△3	△130	126
その他	600	△414	1,014
営業CF	738	△213	951
固定資産の取得による支出	△272	△520	248
固定資産の売却による収入	0	6	△6
投資有価証券の売買額	0	96	△96
その他	46	25	20
投資CF	△226	△391	165

	2025年度	2024年度	増減
短期借入金の増減額	△300	800	△1,100
長期借入金の増減額	410	△230	640
リース債務の返済額	△38	△61	23
配当額の支払額	△142	△142	0
その他	△0	0	0
財務CF	△70	365	△436
フリーキャッシュフロー*	511	△605	1,117
現金等の換算差額	△0	0	0
現金等の増加額	441	△239	681
現金等の期首残高	255	495	△239
現金等の期末残高	697	255	441

ROE（自己資本当期純利益率）の推移



目次

1. 2026年2月期 通期決算概要
2. **2027年2月期 通期業績予想**
3. 2026年2月期 期末配当
2027年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2027年2月期 通期業績予想

- 2027年2月期は、収益性重視の事業構造へ転換を図る重要な一年と位置付けて、抜本的な構造改革を実行し黒字化の実現に向けて「利益重視の経営の徹底」「生産性の向上」「ローコストオペレーションの徹底」「成長事業への投資」を推進
- 家電製品事業は、「匠プレミアム」製品の拡充や匠クラフトドライヤーの美容室ルート拡販、韓国での売場拡大を推進。加えて、ホテル・医療向け業務用小型冷蔵庫や住宅設備ルートでの浴室テレビを強化。半導体装置向け金属床材やPB製品の納品も拡大。チャンネル戦略の再設計により家庭用冷蔵庫・洗濯機の事業縮小による減収を補完し収益性の改善を図る。
- FPSC事業は、医薬・バイオを重点分野と位置付け、従来の冷凍機のOEM供給ビジネスに加えて、ワクチン用低温冷凍庫の供給実績やWHOが定めるPQS認証を活かし、-80°Cの可搬式小型フリーザーボックスを発売。国内外の展示会出展や新規輸出1万者支援プログラム活用により販路拡大を推進。

単位：百万円	2026年度	2025年度		
	通期 業績予想	通期 実績	差額	前期比 増減率
売上高	9,600	8,998	601	6.7%
営業利益	100	△855	955	—
売上高比	1.0%	-9.5%	10.5pt	
経常利益	75	△896	971	—
当期純利益	45	△1,218	1,263	—

目次

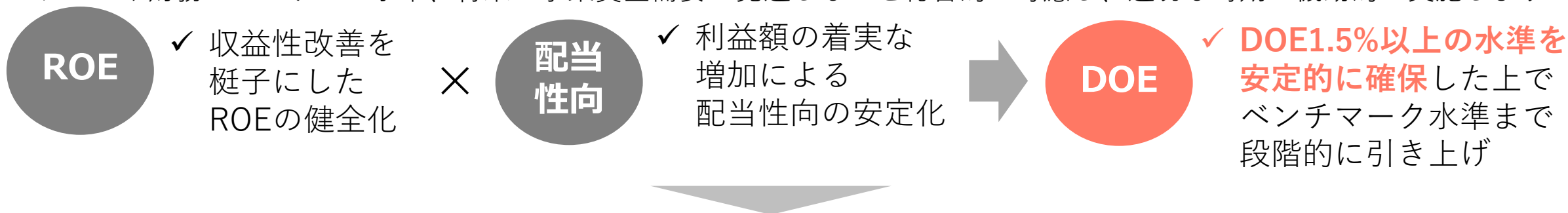
1. 2026年2月期 通期決算概要
2. 2027年2月期 通期業績予想
3. **2026年2月期 期末配当**
2027年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

2026年2月期 期末配当

【当社株主還元政策の基本的考え方】

- 当社は企業価値の向上により、株主価値を高めることを経営の重要課題と認識しております。業績を向上させ財務体質の強化を図ることで、安定的かつ持続可能な株主還元（配当・自己株式取得）をおこなうことを基本方針としています
- 配当については、DOE1.5%以上の水準を安定的に確保し、段階的に引き上げることを目指しております
- 一方、自己株式の取得については、資本効率向上などを目的として、経営環境、業績動向、並びにフリー・キャッシュ・フローや財務レバレッジの水準、将来の事業資金需要の見通しなどを総合的に考慮し、適切な時期に機動的に実施します



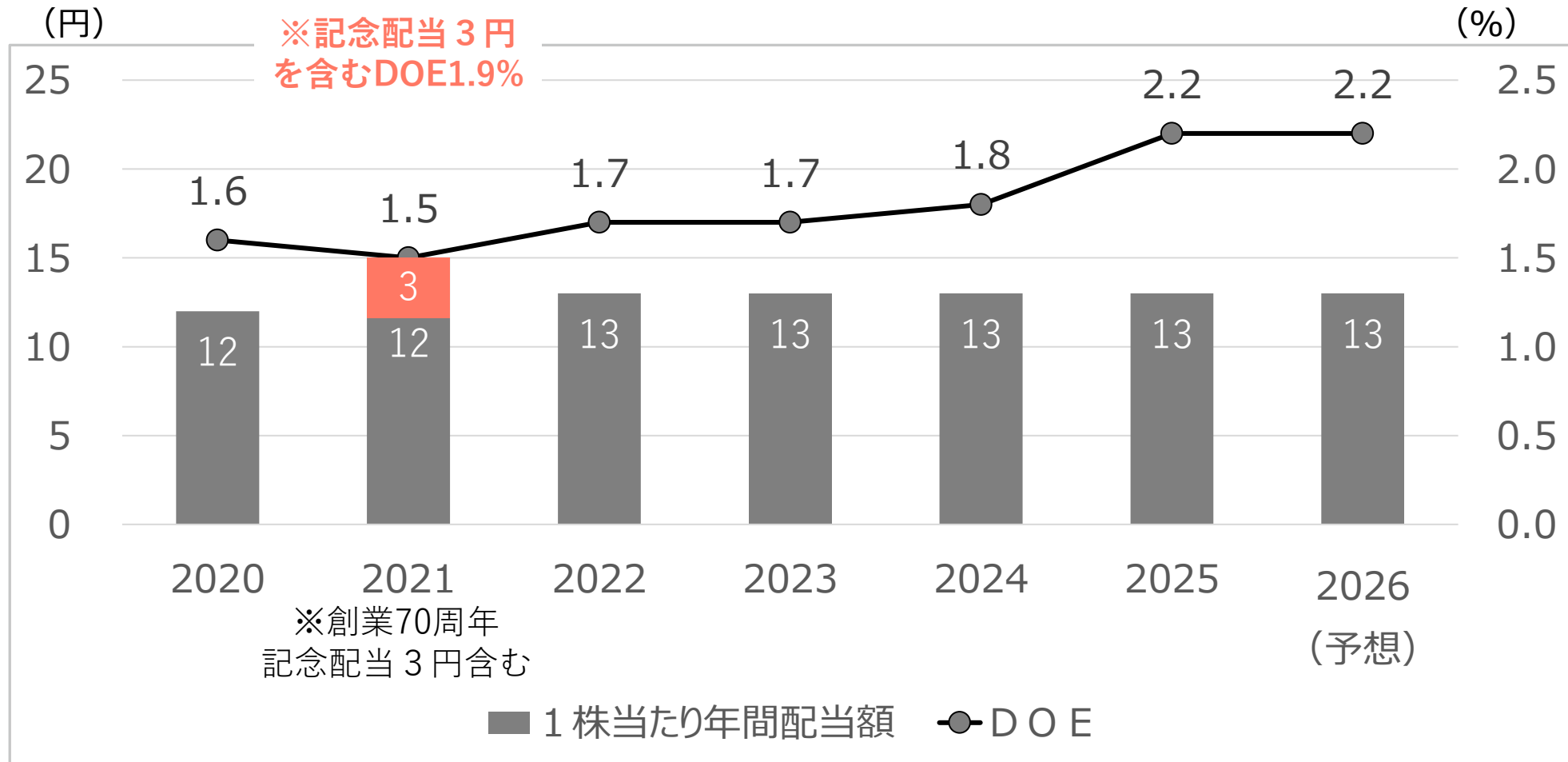
第64期（2025年3月1日～2026年2月28日） 期末配当

1. 期末配当金 当社普通株式1株当たり10円
2. 支払総額 109,061,660円（株式数10,906,166株×10円）
3. 配当の効力が生じる日 2026年5月28日

（参考）中間配当1株当たり3円を加え、年間配当は1株当たり13円

1株当たり年間配当額、純資産配当率（DOE）

当期（2025年度） 期末配当は1株当たり10円 年間配当は13円（DOE 2.2%）を予定
次期（2026年度） 年間配当は1株当たり13円（中間3円、期末10円） DOEは2.2%を予想



目次

1. 2026年2月期 通期決算概要
2. 2027年2月期 通期業績予想
3. 2026年2月期 期末配当
2027年2月期 年間配当予想

補足資料：四半期別業績数値

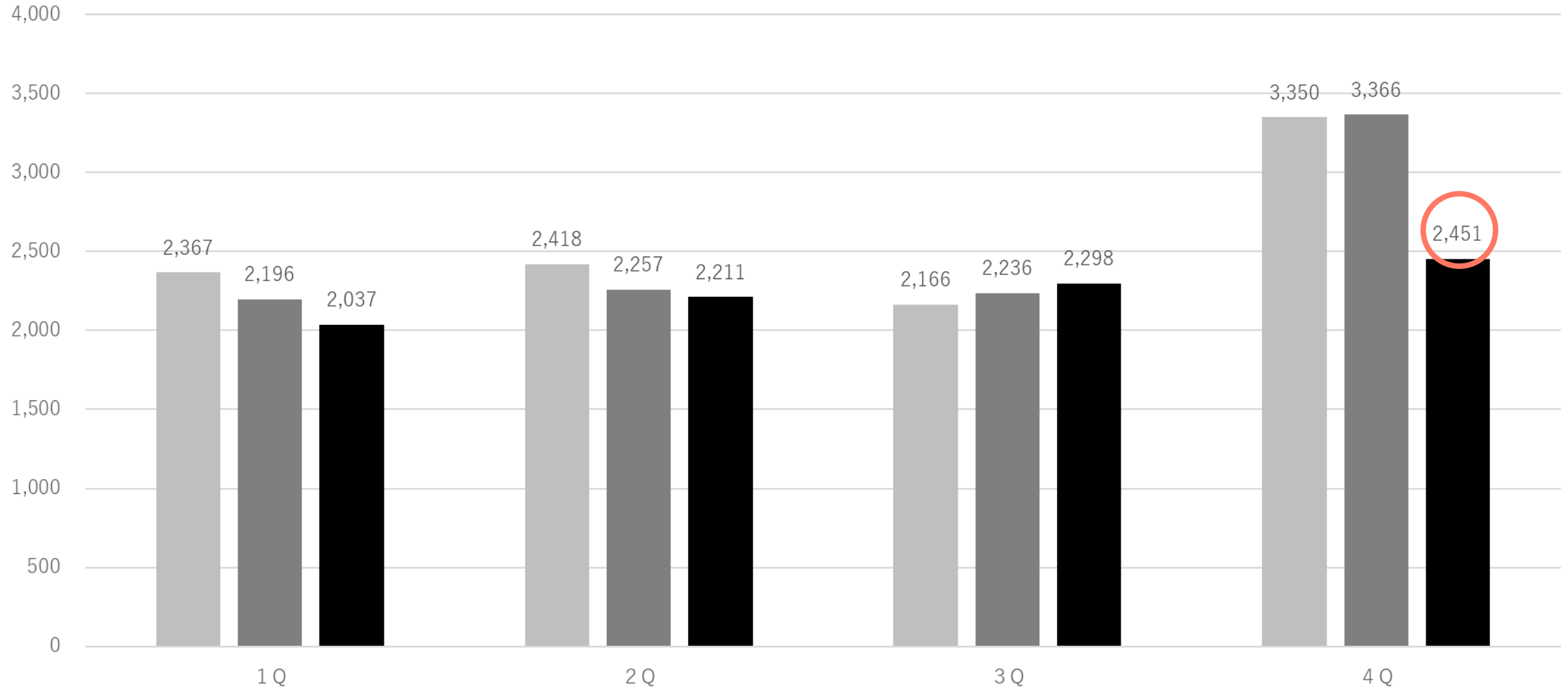
第4四半期（3ヶ月） 損益計算書

単位：百万円	2025年度	2024年度		
	4 Q 実績	4 Q 実績	前年同期比 差額	増減率
売上高	2,451	3,366	△914	-27.2%
売上総利益	290	1,118	△828	-74.0%
売上高比	11.8%	33.2%	-21.4pt	
販売費及び一般管理費	720	715	4	0.6%
売上高比	29.4%	21.3%	8.1pt	
営業利益又は営業損失（△）	△429	403	△832	-
売上高比	-17.5%	12.0%	-	
経常利益又は経常損失（△）	△432	390	△822	-
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△746	106	△853	-

四半期別業績数値 純売上高



(百万円)

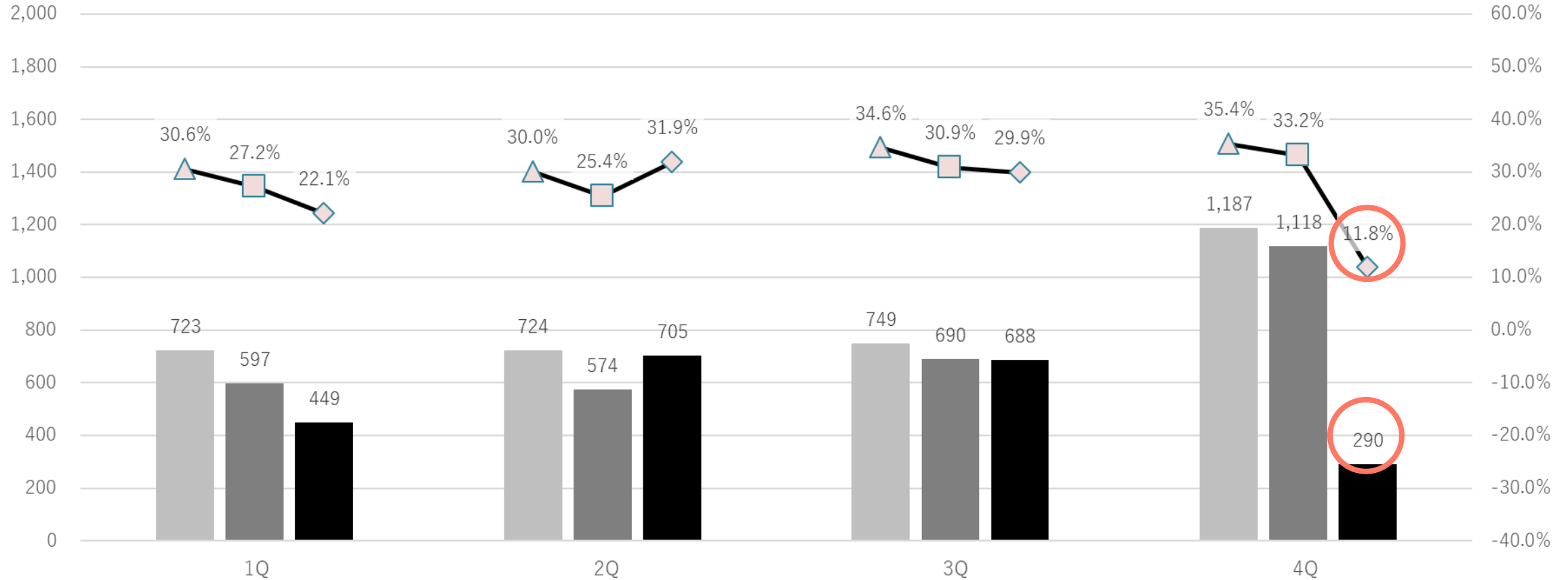


四半期別業績数値 売上総利益



(百万円)

(売上比率)

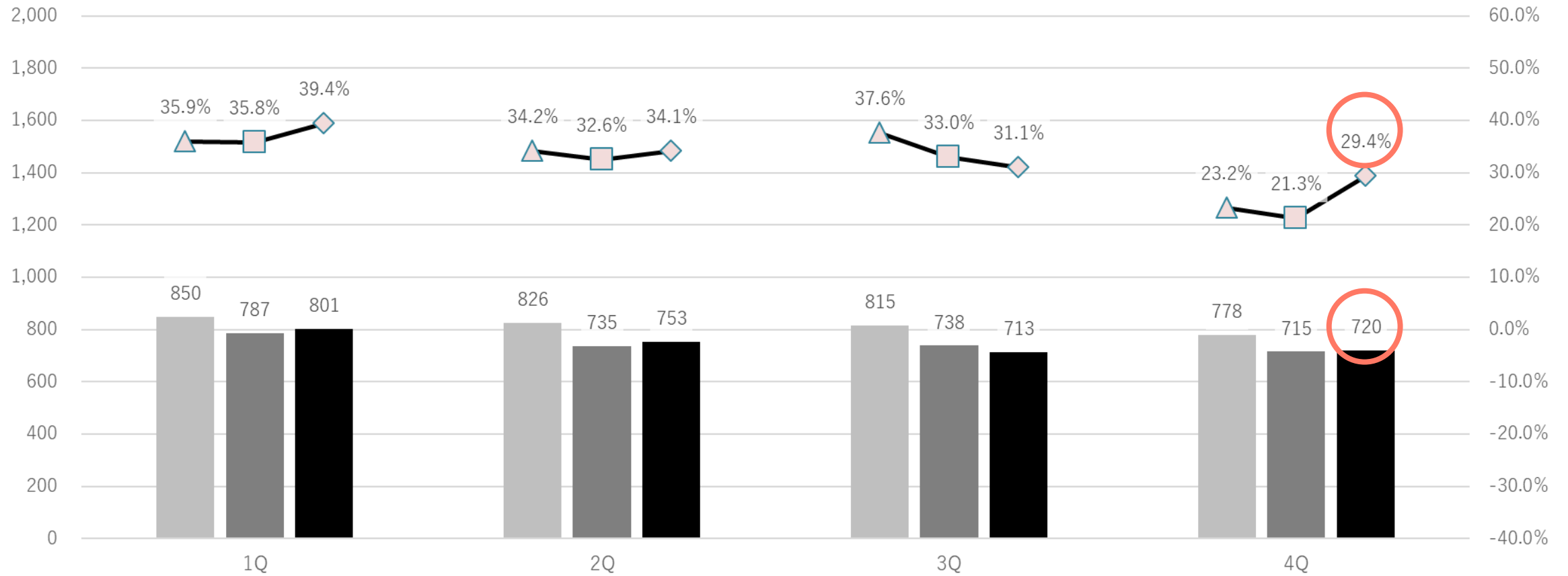


四半期別業績数値 販売費及び一般管理費



(百万円)

(売上比率)

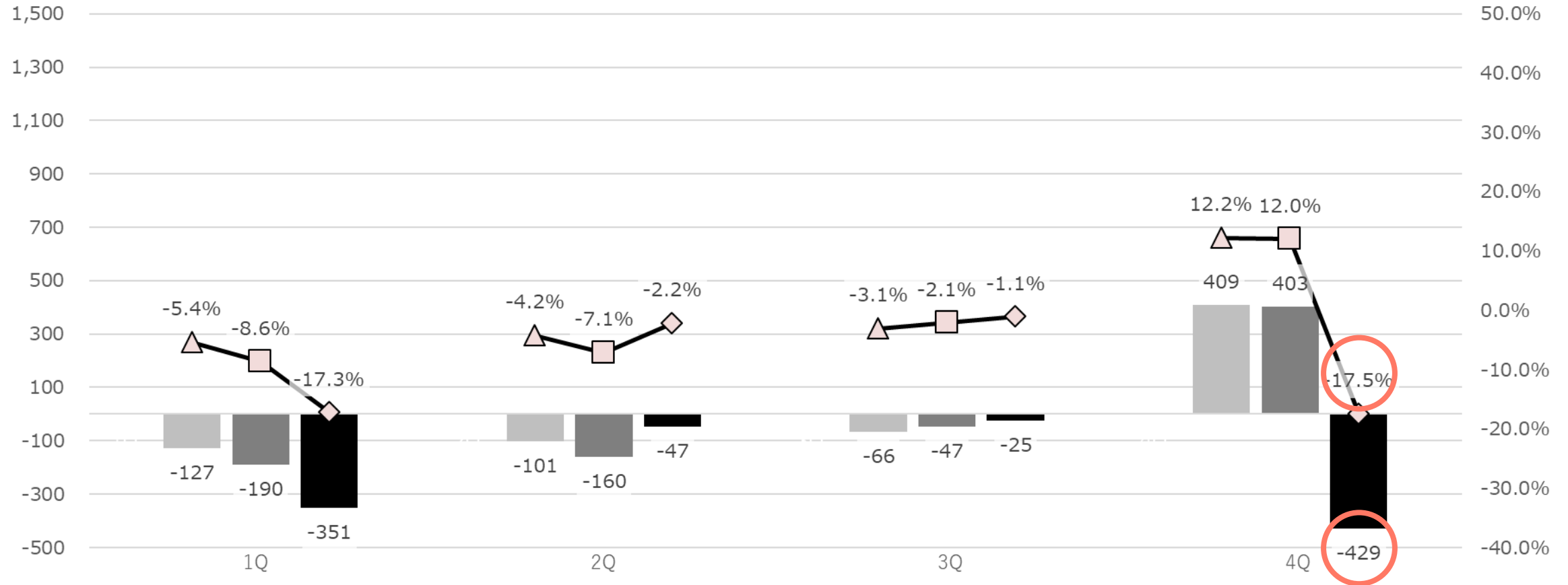


四半期別業績数値 営業利益



(百万円)

(売上比率)

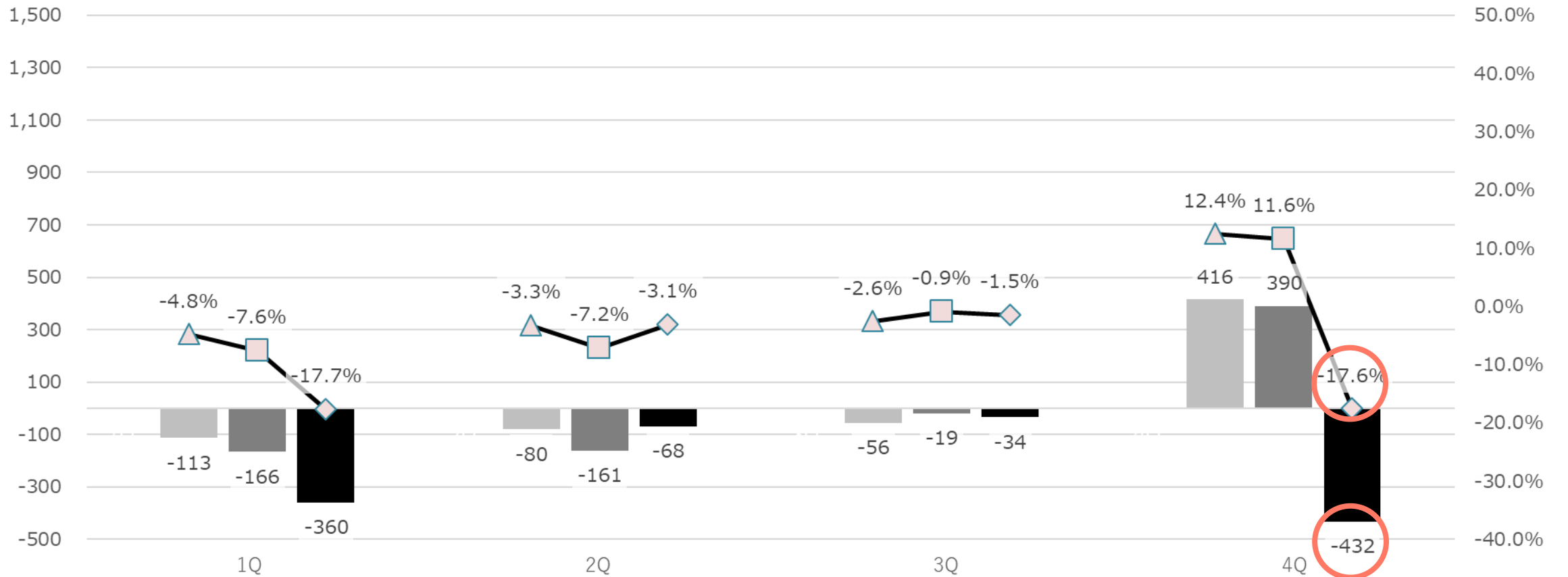


四半期別業績数値 経常利益



(百万円)

(売上比率)

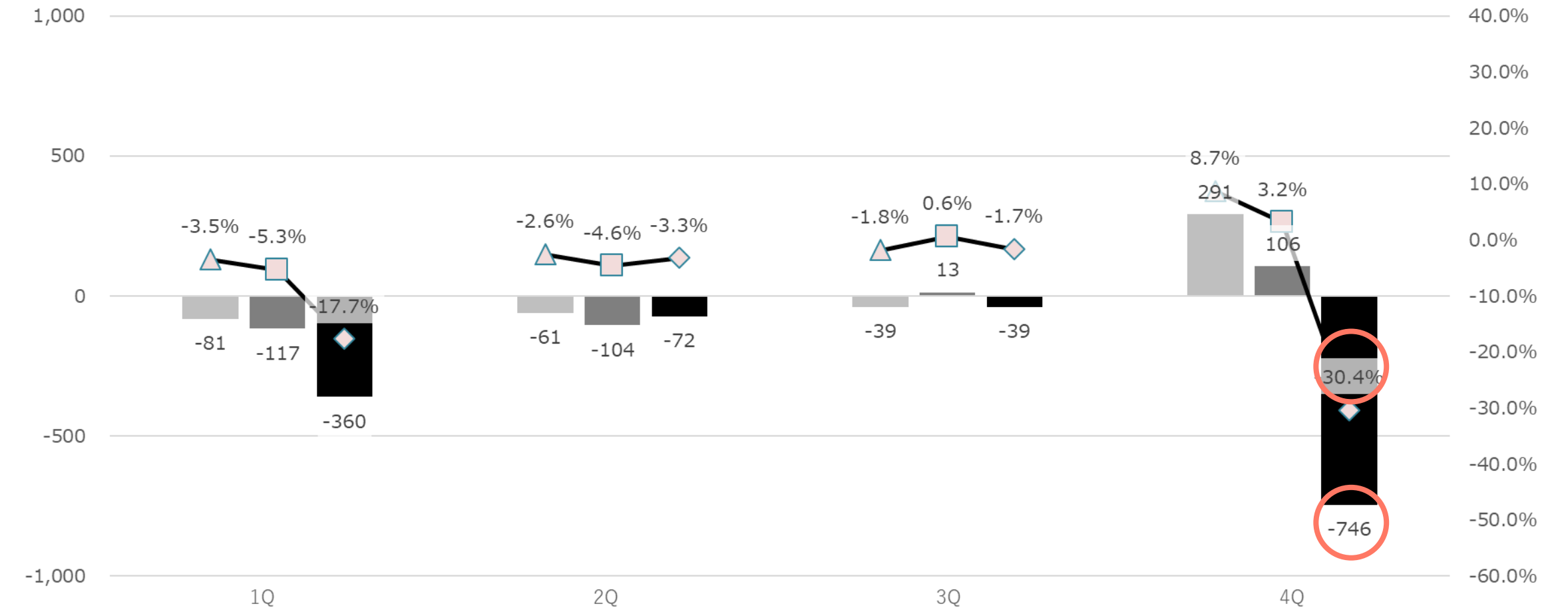


四半期別業績数値 四半期純利益



(百万円)

(売上比率)





TWINBIRD

IR・決算に関するお問い合わせ先

株式会社ツインバード 取締役最高財務責任者 企画管理本部 本部長 渡邊 桂三 (TEL:0256-92-6111)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する意見や予測等は、資料作成時点で一般に認識されている経済・社会等の情勢及び、当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更される可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。